

M-1 ティルト

MP-Tiシリーズ

取扱説明書

(保証書付)

このたびは、「M-1 ティルト」をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書には、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

ご使用いただく前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容をよく理解された上でご使用くださいますよう、お願いいたします。

なお、取扱説明書は、必ず大切に保管してください。

目次

1. 主な特長	2	7. お手入れの方法	13
2. 各部位の名称・梱包内容	2	8. 保管方法	13
3. 警告・注意マーク	3	9. 仕様	13
4. 安全にお使いいただくために ..	3	10. アフターサービスについて	14
5. 使用方法	6	11. 保証書	16
6. 使用前の点検	12		



本商品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な保守が必要です。この取扱説明書に記載されている内容をよくお読みになり、十分にご理解された上でご使用いただくよう、よろしくお願いいたします。

また、この取扱説明書に書かれていない使用方法は絶対に行わないでください。

1. 主な特長

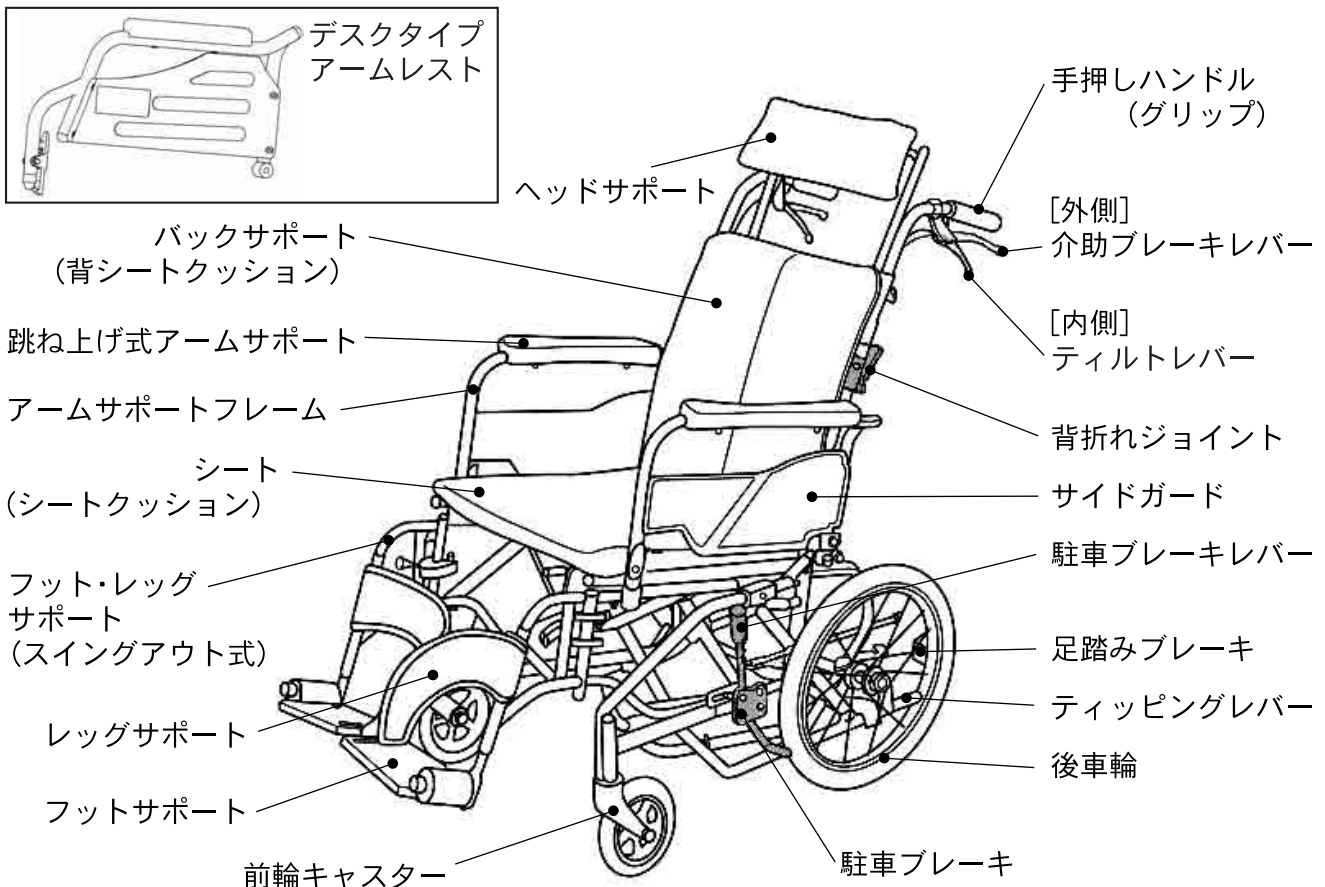
シートの角度を変えることで、くつろげる座位姿勢がとれる車いすです。

- シートのティルト角度を0°～30°まで自由に設定できます。
シートの角度を変えることで、前方への身体のスレを防止します。
- 張り調整式バックサポート付きです。
使用者の姿勢・体格に合わせて調整できます。
- 首を支えるヘッドサポート付きです。
身長に合わせて高さ調節ができます。

車いすへの移乗がスムーズにできます。

- 跳ね上げ式アームサポート付きです。
アームサポートを跳ね上げることにより、スムーズに移乗ができます。
- スイングアウト式フット・レッグサポート付きです。
フット・レッグサポートが開くことにより、ベッド・椅子などへより近づくことができます。また、フット・レッグサポートは取り外すこともできます。

2. 各部位の名称・梱包内容



3. 警告・注意マーク

商品を安全にご使用いただき、使用者や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。取扱いの誤りによって、発生する恐れのある危険に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。



警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

4. 安全にお使いいただくために

次の点は安全にお使いいただくために必ずお守りください。

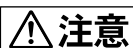
走行上の注意



- 道路走行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。



- 本商品は一人用に設計されています。二人以上で使用しないでください。
使用者最大体重（積載物を含む）100kg
- スピードを出さないでください。スピードが出ている時の急カーブ・急ブレーキは転倒し大変危険です。
- 急な下り坂で介助をする時は、後ろ向きにゆっくり下りてください。
- 走行中は、身体を乗り出さないでください。走行の安定を損ない危険です。



- バックサポートに重いものなどを引っ掛けしないでください。転倒する恐れがあります。
- 走行中にシートのティルト操作、アームサポートの跳ね上げ及びフット・レッグサポートのスイングアウト操作をしないでください。
- 走行中に、異常を感じたら即時に使用を中止してください。

介助時の注意

⚠ 警告

- 暖房器具に本体を近づけないでください。シート部が燃えたり、熱くなった金属部分でやけどをすることがあります。
- 歩道や踏み切りを横断する際は、溝への落輪、段差での転落に十分注意してください。

⚠ 注意

- 介助者は、車いすに乗って介助しないでください。
- 介助者は、使用者の身体の一部または衣服が後車輪、前輪キャスターに触れたりはさまったりしないよう、車いすに安全に座れているかを確認してください。
- シート部以外に腰掛けしないでください。
- アームサポートを跳ね上げる際は、可動部に身体または衣服をはさまないように注意してください。

停止時の注意

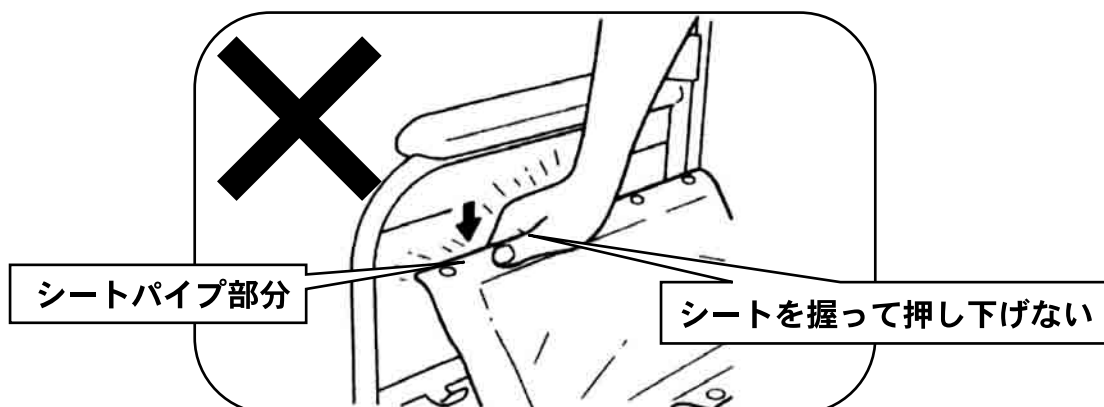
⚠ 注意

- 停止時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。（8頁⑤参照）
駐車ブレーキを掛け忘れると、車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。

車いす開閉時の注意

⚠ 注意

- 折りたたんだ車いすを開く時に、シートパイプ部分を握って押し下げないでください。
手をはさみ危険です。



移乗時の注意

⚠ 注意

- 移乗する時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。（8項⑤参照）
- 移乗する時は、できるだけ車いすのシートを水平の位置にもどして行ってください。
- 移乗する時は、フット・レッグサポートを開くか、フットサポートを跳ね上げてから行ってください。フットサポートの上に乗らないでください。



段差乗り越え時の注意

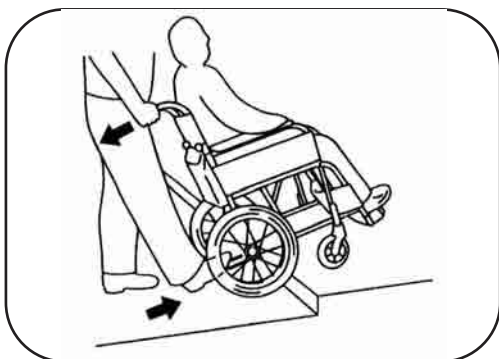
⚠ 警告

- 使用者を乗せたまま車いすを持ち上げる時は、使用者の上半身を支え、シートより下のフレームを両側からしっかり持ってください。持つ個所によって破損や事故につながる恐れがあります。アームサポート、フット・レッグサポート、背折れジョイントは持たないでください。



⚠ 注意

- 必ず背折れジョイントがロックされていることを確認してください。



足元のティッピングレバーを前方に押すように踏み込み、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上に上げてください。

無理な力による段差乗り越えはフレームの破損につながります。

ティルト操作時の注意

⚠ 注意

- ティルト操作をする時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。（8項⑤参照）
- ティルト操作をする時は、使用者の手や腕がアームサポートより外に出ていないことを十分に確認してください。

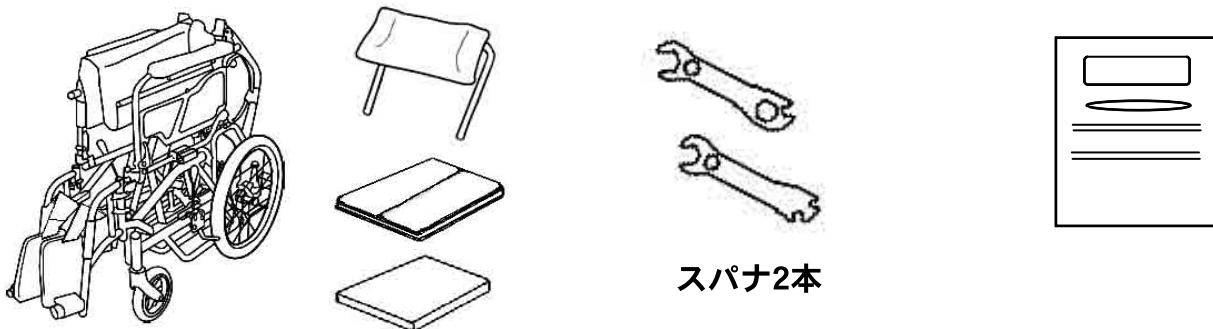
手や腕がアームサポートより出たまま、ティルト操作をしますと、車いすの近くにある物（壁、テスリ、他の車いす、テーブル他）に手や腕をひっかけたり、はさむなどしてケガをする恐れがあります。

5.使用方法

(1) 開封

本体・付属品・取扱説明書が入っていることを確認してください。

- ・ 本体（ヘッドサポート/クッション）
- ・ 付属品
- ・ 取扱説明書（保証書）



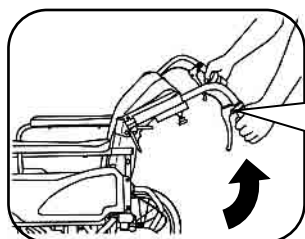
(2) 使用方法

①バックサポートの起こし方

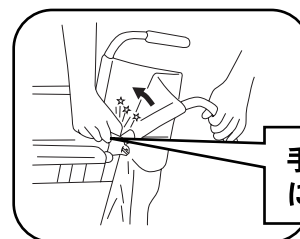
車いすのシートを広げる前に、バックサポートを起こします。

バックサポートは最後まで起こしますと自動的にロックされます。

ワイヤーやシートなどを背折れジョイントにはさみ込まないように注意してください。



両方の手押し
ハンドルを
起こします。



手や衣服のはさみ込み
に注意。

②バックサポートのたたみ方

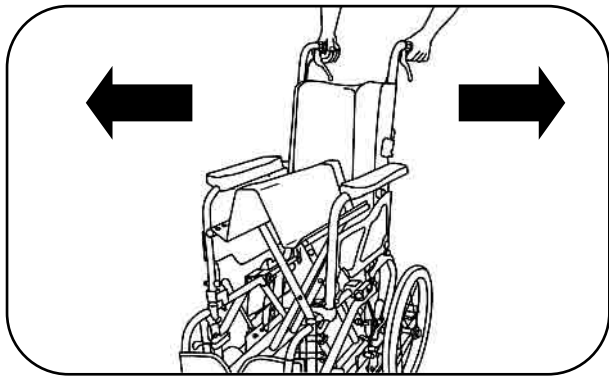
手押しハンドルを握り、一方の手で背折れジョイントのレバーを引きながら手押しハンドルをたおします。

⚠ 注意

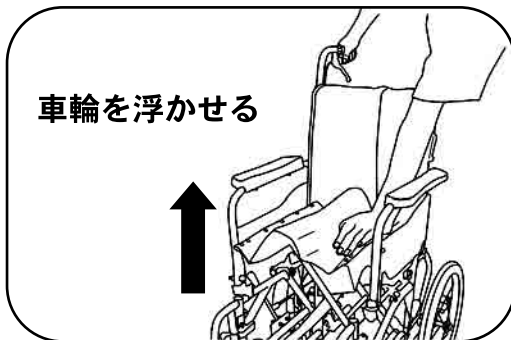
バックサポートを起こす、たたむ操作は、使用者が乗った状態では絶対に行わないでください。背折れジョイントで身体部分や、衣服をはさむなどしてケガをしたり、衣服が破損する恐れがあります。

③シートの開き方

- 1) 両輪の駐車ブレーキを掛けてください。(8項⑤参照)
- 2) 手押しハンドルを軽く持ち、本体を浮かせながら左右に開きます。



- 3) 片側の車輪を浮かせ、浮いてない方のシート端を手で上から押します。



車輪を浮かせる

シートの両端を上から押し、シートがきちんと開いていることを確認してください。



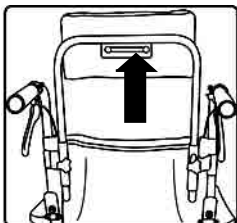
注意

シート端のパイプを握って押しさげないでください。
手をはさみ危険です。

④シートのたたみ方

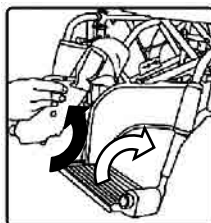
- 1) 両輪の駐車ブレーキを掛けてください。(8項⑤参照)
- 2) ノブボルトを緩めて、ヘッドサポートを取り外します。(8項⑦参照)
- 3) フットサポートを左右両方とも跳ね上げます。(10項⑩参照)
- 4) 後車輪内側の連結棒を少し上方に持ち上げます。
- 5) シートの前方と後方の中央を同時に持ち上げます。
- 6) 両側からしっかり押さえます。

2)



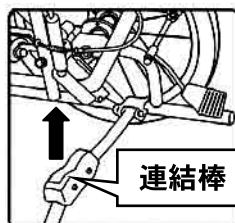
ヘッドサポート
を外す。

3)



フットサポート
を跳ね上げる。

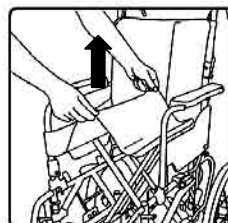
4)



連結棒

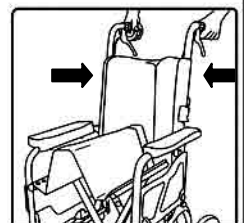
連結棒
を持ち上げる。

5)



シート
を持ち上げる。

6)

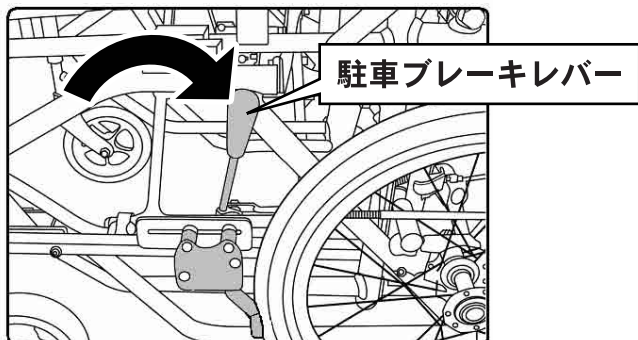


両側から
押さえる。

⑤駐車ブレーキの掛け方、解除の方法

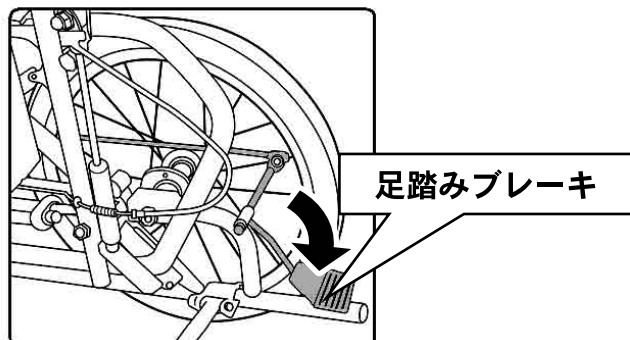
駐車ブレーキは、駐車ブレーキレバーを操作する方法と足踏みブレーキを操作する方法の2通りの方法で操作できます。

1) 駐車ブレーキレバー操作



駐車ブレーキレバーを矢印の方向に引くと駐車ブレーキが掛かり、もどすと解除されます。

2) 足踏みブレーキ操作



足踏みブレーキを下方向に踏み込むと、駐車ブレーキが掛かり、もどすと解除されます。



注意

停止時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。

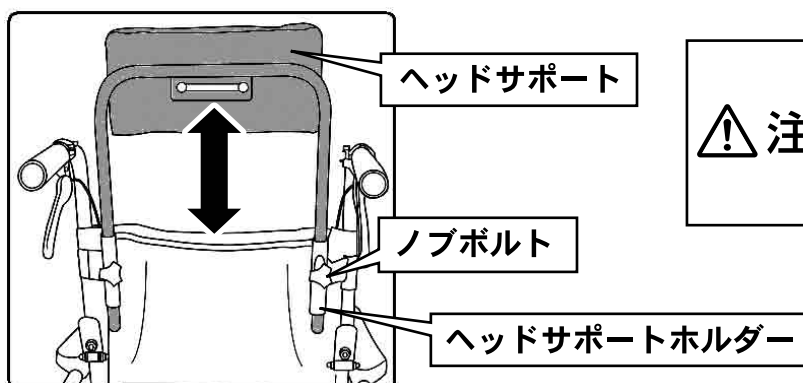
⑥介助ブレーキ

ゆるい下り坂や、スロープを下がる時など介助者が車いすを減速する時にご使用ください。左右の手押しハンドルにある介助ブレーキレバーをにぎると、ブレーキが掛かります。

左右の介助ブレーキレバーは同時に均等な力で操作してください。

⑦ヘッドサポートのセット及び高さ調節

- 1) バックサポートの裏側にある、ヘッドサポートホルダーのノブボルトを緩め、ヘッドサポートをヘッドサポートホルダーに差し込みます。
- 2) ヘッドサポートの高さを使用者に合わせます。
ヘッドサポートは使用者の後頭部をささえます。
- 3) 位置が決まったら、ヘッドサポートホルダーのノブボルトを締め込み固定します。

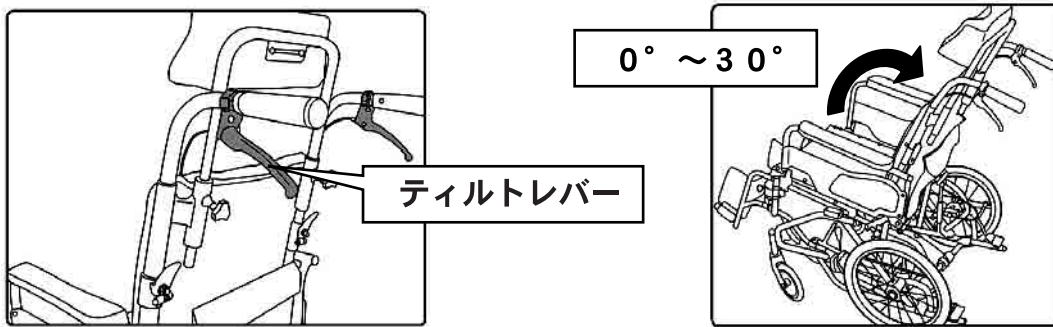


注意

高さ調節を行った後は必ず固定をしたことを確認してください。

⑧ティルトの角度調節方法

- 1) 手押しハンドルにあるティルトレバーを左右同時ににぎると、シート+バックサポートの固定が解除され、任意の角度 ($0^{\circ} \sim 30^{\circ}$) に調節できます。



⚠ 注意

ティルトレバーの操作は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてから行ってください。

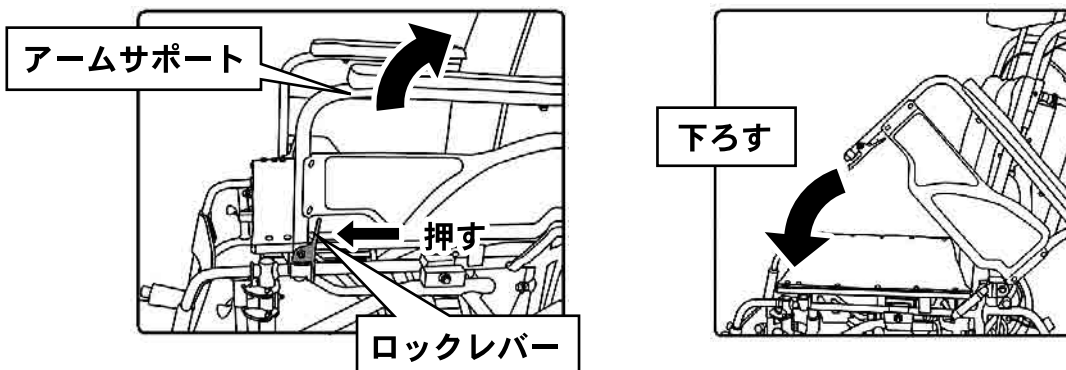
使用者を乗せてティルト操作をする時は、「たおします」「起こします」と介助者は操作の前に一声かけてから操作を行ってください。

- 2) 左右のティルトレバーの握りを戻すと、シート+バックサポートが固定されます。

⑨跳ね上げ式アームサポートの取り扱い方法

アームサポートを跳ね上げることで、横からの移乗が容易に行えます。

- 1) アームサポートの跳ね上げ
ロックレバーを押しながらアームサポートを跳ね上げます。
- 2) アームサポートの取り付け
アームサポートを下ろし、ロックレバーが引っ掛かるまで下ろします。



⚠ 注意

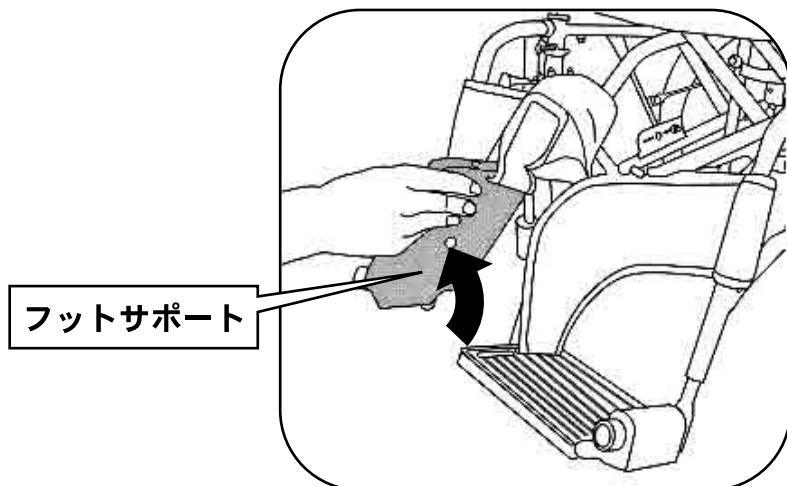
アームサポートを下ろす際は、身体や衣服をはさまないように注意してください。

⚠ 注意

アームサポートを取り付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。

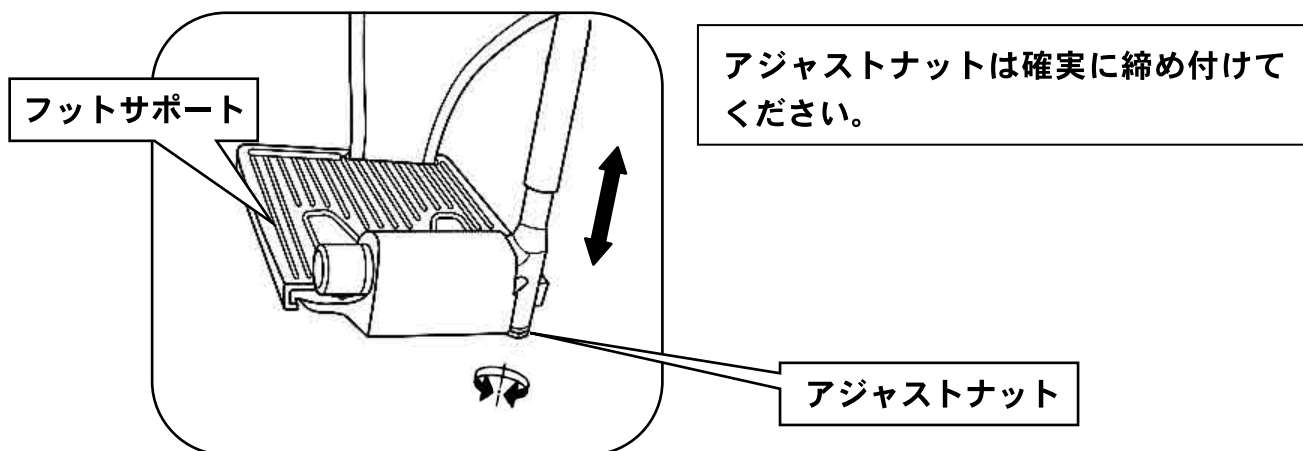
⑩フットサポートの取り扱い方法

フットサポートは、手動で簡単に外側に跳ね上げることができます。
介助のさまたげになる時は跳ね上げてください



⑪フットサポートの高さ調節

- 1) アジャストナットを付属品のスパナで緩め、フットサポートを上下させ使用者の足位置に合わせます。
- 2) 位置が決まったら、アジャストナットを締め込み固定します。

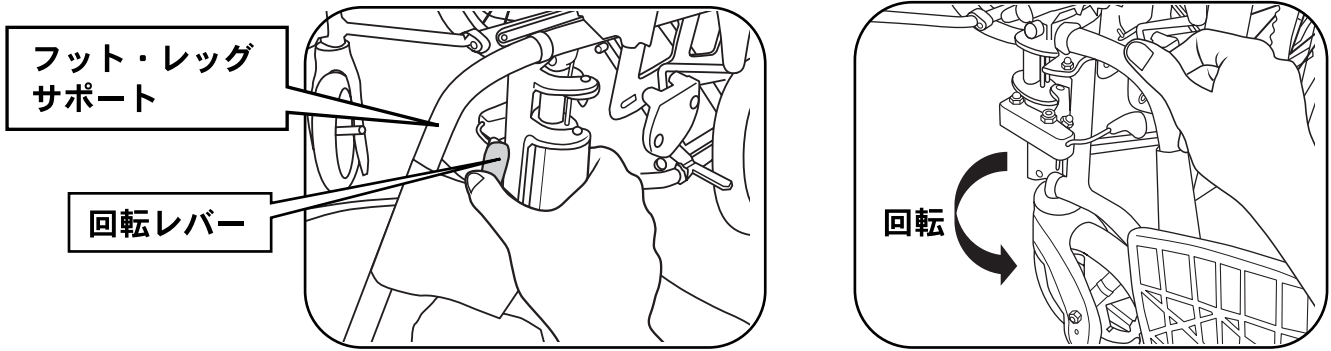


⚠ 注意	フットサポート高さは、床から5 cm以上あげてください。 車いすを走行させる時に障害物にぶつかる恐れがあります。
-------------	---

⑫スイングアウト式フット・レッグサポートの取り扱い方法

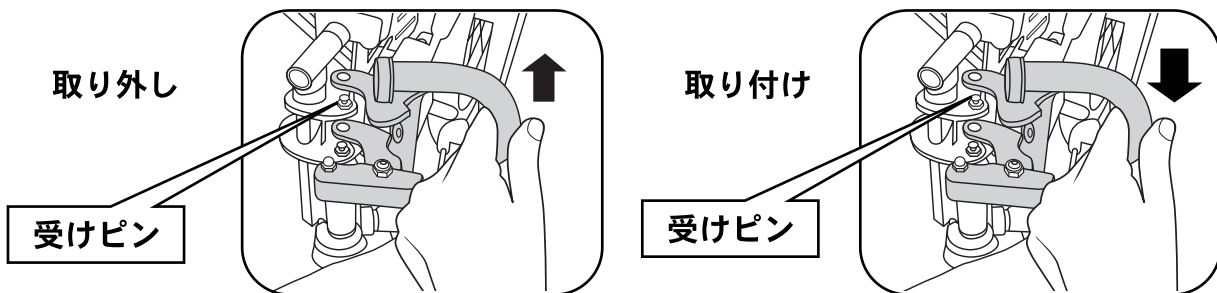
フット・レッグサポートを開くことで、ベッド・椅子などに近づくことができます。

1) 回転レバーを引きながら、フット・レッグサポートを外側に回転させ開きます。



2) 取り外しは、フット・レッグサポートを外側に回転させた状態で引き上げます。

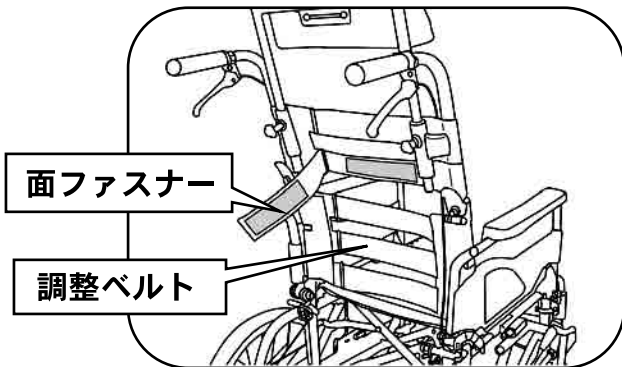
3) 取り付けは、2つの受けピンにフット・レッグサポートの回転軸穴をはめ込みます。



⚠ 注意

- ・フット・レッグサポートの回転、取り外し、取り付けは、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けた状態で行ってください。
- ・フット・レッグサポートを閉じた後は、必ず固定されたことを確認してください。

⑬スイングアウト式フット・レッグサポートの取り扱い方法



使用者の体形に合わせて、バックサポートの張りを調整できます。

⚠ 注意

調整シートの調整は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてから行ってください。

- 1) 後のポケット側の背クッションシートをめくり上げます。
- 2) 使用者の体形や使いやすいポジションに合わせて、調整ベルトの長さを調整します。
- 3) 調整ベルト部分の面ファスナーをしっかりと固定します。
- 4) めくり上げた背クッションシートを元にもどします。
- 5) 面ファスナーが固定されたことを確認してください。

6. 使用前の点検

使用前に以下の点検を必ず行ってください。

点検を行い作動不良や異常を感じた時は、使用を中止し、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社支店・営業所へご連絡ください。

(1) ブレーキの作動確認

①駐車ブレーキ

駐車ブレーキレバー操作と足踏みブレーキ操作を行い、ブレーキが掛かることを確認してください。

②介助ブレーキ

介助ブレーキを操作し、ブレーキが掛かることを確認してください。

(2) バックサポートが固定されていることの確認

①背折れジョイントがロックされていること、バックサポートが固定されていることを確認してください。

②左右のスウイングレバーを同時に握り、放したときバックサポートが固定されていることを確認してください。

(3) 可動分部の確認

前輪キャスター、後車輪、ブレーキ、本体フレーム等のがたつき、緩みのないことを確認してください。

(4) 消耗品、交換部品の確認

それぞれの部品が消耗・劣化した時は、早めに交換してください。

新しい部品に交換する際は、お買いあげの販売店または、最寄りの弊社支店・営業所へご連絡ください。

注意

交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながる恐れがあります。

(5) 後車輪タイヤの空気圧の確認

注意

後車輪タイヤの空気圧が少ないと、ブレーキがかからない場合や、かかりが悪くなる場合がありますので、空気圧には十分注意してください。

適正空気圧 16インチ : 3.0Kgf/cm²

消耗品、交換部品

品名	交換時期
後輪タイヤ	タイヤの表面に溝がなくなったとき。
前輪キャスター	表面の摩耗が著しいとき。
シート	たるみ、ほつれ、切れ目が発生したとき。
ティルトワイヤー	ワイヤーにほつれ、サビが発生したとき。
介助ブレーキワイヤー	ワイヤーにほつれ、サビが発生したとき。

7. お手入れの方法

(1) 本体フレームのお手入れ

- ①本体フレームの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。
拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。
- ②水などがかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

(2) シート、アームサポート、手押しハンドル（グリップ）等の樹脂部品のお手入れ 縫製部品、樹脂部品の汚れは中性洗剤で拭き取ってください。



注意

シンナー、ベンジン等の溶剤は使用しないでください。
製品を傷める恐れがあります。

8. 保管方法

- ①収納スペースが少ないときは、ヘッドサポートを取り外し、シート、バックサポートを折りたたんで保管してください。
- ②サビや樹脂部品の劣化をさけるため、湿気の多い場所や室温が上がる場所や直射日光のあたる場所には保管しないでください。

9. 仕様

		仕 様	
型 式		MP-Ti HG	MP-Ti
材質	シートフレーム	アルミ（アルマイト処理）	
	バック/アーム/レッグ サポートフレーム	アルミ（粉体塗装処理）	アルミ（アルマイト処理）
	シート	ナイロン（シート・バックサポート・レッグサポート）	
寸法	全幅	600mm	
	全長	1040mm	
	全高	1000～1300mm（ヘッドサポート調整範囲380mm）	
	シート幅	400mm	
	前座高	460mm（座角0°）/585mm（座角30°）	
	後座高	460mm（座角0°）/375mm（座角30°）	
	シート角度調節範囲	0°～30°	
	シート奥行	400mm	
	バックサポート高	420mm	
	バックサポート角度	105°	
	アームサポート高	225mm	
	アームサポート幅	405mm	
	手押しハンドル高	945mm（座角0°）/640mm（座角30°）	
重量	19.8 kg		

10. アフターサービスについて

この商品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問は、お買いあげの販売店へお申しつけください。

修理を依頼されるには

お買いあげの販売店に、この商品の品名および故障状況をくわしくご連絡の上お申しつけください。

商品の保証について

- (1) 保証内容につきましては、16頁の保証書をご覧ください。
- (2) 保証期間終了後の修理については販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理いたします。
- (3) 車椅子のフレームの耐用年数は5年を基本として製作されています。5年経過後使用される場合は、必ずお買いあげの販売店へご相談ください。